おもちゃは子どもにとっての育ちの宝!

国立市内でおもちゃや子どものあそびに携わる方々に、

"おもちゃ"について様々な角度から話を伺いました



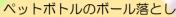
社会福祉法人向陽学園 **向陽保育園**

▶ 矢川地域で48年の歴史がある向陽保育園の佐伯園長と主任の ▶ 昌江先生。わくわくするたくさんの手作りおもちゃを見せて いただきました。ほんの一部ですが紹介します。

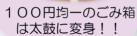
職員達のアイディアがたくさん詰まった手作りおもちゃ。子どもたちが自ら想像 して遊び込んでいける物を用意している。大人には不要な物も、子どもにとっては 大切で、魅力的。廃材を捨てずに取っておき、身近なものでおもちゃを作っている。 手作りならではのぬくもりを大切に、子どもたちにその思いを伝えていきたい。



平たいお手玉や丸い布は食べ物に 見立てたり、半分に折ったり… まとめてみたり… 子どもの自由な発想で遊びが発展



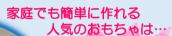




一つのおもちゃが子どもの

成長によって遊び方が発展

していくんだね



洗濯ばさみ釣り

釣り糸の先の磁石で小さな子も簡単に釣れちゃう。 少し大きくなったら、洗濯ばさみの色を決めて釣ったり、 友だちと一緒に釣ってみたり、様々な年齢で楽しめる。



国立の北に、木のおもちゃ専門店を営んで今年で 11年目を迎えるBremenさん。店主の小池さんは、 子どもの時から木のおもちゃに触れながら生活を してきたそうです。

店主のお母さまから譲り受け た木のくじゃくは、30年~ 40年前の物。店内にさりげ なく飾ってあるよ



木のおもちゃは自然の素材なので、小さな子どもが口の中に入れたとして も安心、安全。また、シンプルな作りで壊れにくいのも、特徴。壊れたとし ても、修理をして再び遊ぶことができるので、永く次世代に繋いでいけるの も魅力であり、物を大切にすることも伝えられる。実際に手にした時の感触、 音などを感じて選んで欲しい。



作りがシンプルな木のおもちゃは、想像力を使って 自由に遊びを広げていくことができます

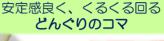
木のおもちゃ専門店 Bremen 画像

吉田 祥二さん(国立市在住)

「ひげじいさ~ん」の愛称で2008年から国立市内の 児童館等で工作の楽しさを子どもたちに伝えています。 現在は矢川児童館にて工作キットの配布、立川市子ど も未来センターで工作マニュアルの無料配布をしてい ます。

いつの間にか身の回りにプラスチック製品があふれている。そんな世の中に愕然と し、木・紙・絹・純毛などの自然の素材にこだわった工作を心掛けている。子どもた ちが自然のものに触れ、感じたこと遊んだことが根底になり、何十年後かに花開き、 自然を大切にしてくれるようになったら嬉しい。







イタドリの笛

※イタドリ…多年生の植物

材料は吉田さんが収穫した物。 ひと手間をかけ、作りやすく 準備してくれているんだよ



通所事業ここすき!では、木のおもちゃや指先を使う おもちゃ、家庭でも真似しやすい手作りおもちゃを中心 にそろえています。

想像力を働かせ、ごっこ遊びが広がっていきます。

子ども達の状況に合わせて おもちゃの数を増減し調節。 コーナーを作って遊びやすい 環境を整えているよ





ある日のここすき! 「楽しみ方はいろいろ」

ここすき!の記事で紹介した "ぺったんこ" にまつわるエピソードです。





そこへ友だちがやってきて・・・



